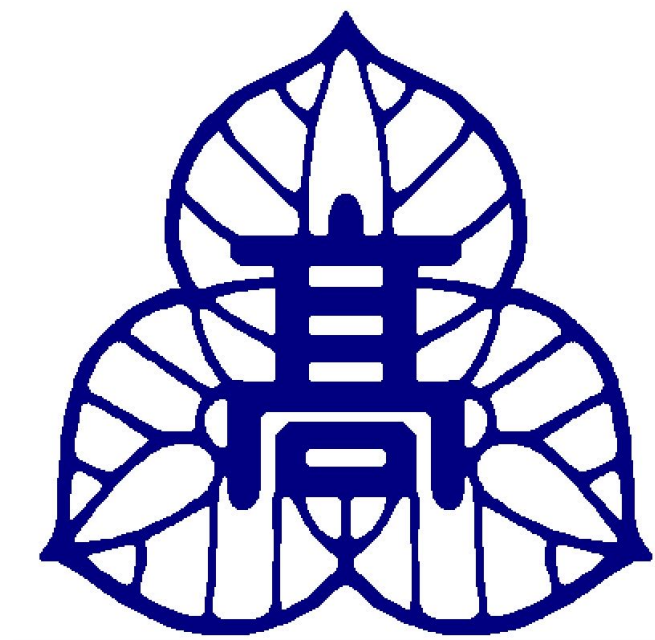




AI導入における民事裁判の時間短縮の可能性

福井県立武生高等学校

○目的・背景

民事裁判の課題を調べる。
深刻な問題を抱えている被害者の方が裁判の利用を避けている現状は問題だと考え、「裁判を利用しにくい」という声に注目し、被害者の方が裁判を利用しやすくと考えた。



先行研究から裁判を利用しにくい理由として「裁判は時間がかかると思ったから」という理由が一番多いことが分かった。また時間短縮にAIを用いているというニュースを見た。そこで民事裁判にAIを導入することで裁判にかかる時間を短縮でき、裁判を利用しやすくなるのではと考えた。

○方法

- ①先行研究を調べる… 各国で裁判に導入されているAIを調べる
- ②弁護士の方にインタビューを行う… 実際の裁判の実情などを伺う
- ③具体的な案を考える… どの過程にAIを導入できるか、どんなAIが導入できそうかのについてのAI導入プランを考える
- ④弁護士の方にアンケートを取る… AI導入プランに対しての評価や意見を伺う
- ⑤AI導入プランを再検討、改善

○先行研究

各国で裁判に導入されているAI

- ・情報提供してくれるAI
- ・書面の審査をしてくれるAI
- ・文法、文献調査をしてくれるAI
- ・AI裁判官
- ・米国の再犯予測システム
- ・法律エキスパートシステム
(判決、和解金の予測、契約書作成などをしてくれる)

○結果・考察

〈インタビュー〉 2人の弁護士の方にお話を伺った

- 裁判の過程で一番時間がかかる過程
 - ↳要件事実該当する事実を抽出して整理し、裁判所にわかりやすい形で提示する書類を作る過程

○導入してほしいAI

- ↳資料検討の際の他の分野の専門用語をまとめてくれる AI
- ・現場の状況を図面化してくれるAI
- ・カウンセリングAI
- ・判例をピックアップしてくれる AI
- ・書類の不整合な箇所をチェックしてくれる AI
- ・期日調整や記録閲覧をしてくれるAI など

〈アンケート〉 約20人の弁護士の方に回答していただいた

○導入されているAIの実態

- (1)事務所に導入しているAI
 - ↳AI判例検索、chatGPT、顧客・電子文書管理のシステム、契約書自動AIレビュー(LegalForce、LeCHECK)



導入率42% (想像よりも高かった)

(2)導入してない理由

必要性を感じない、提供されていない、存在を知らなかった、AIでは不可能と考えるから、足りているからなど

○5つのAI導入プランについての評価とそれに対するご意見

AI導入プラン	評価 Average (MAX5)	高評価意見	低評価意見
弁護士の方に事情を話す前に依頼者から事実を聞き取り要点をまとめてくれるAI	3.5	・効率が良くなる ・時間を短縮できる	・重要な過程だからAIに任せたくない ・被害者の方が納得しないかも
法律分野専門の多言語翻訳をしてくれるAI	2.5	・便利だと思う ・翻訳家に依頼する時間を省ける ・特に英語以外の言語が便利	・外国人が依頼者の事件があまりないから必要ない ・AIに信用があまりない
その弁護士の方の取り扱う事件のジャンルに関する判例を提示してくれる判例検索システム	3.4	・便利だと思う ・大変な作業だから助かる	・今あるものとあまり変わらないから ・違うジャンルをするときに困る
資料検討の際に他の職種の専門用語を誰にでもわかりやすいように説明してくれるAI	3.6	・建築、医療の分野は助かる ・手間が省ける	・自分で調べて理解したい
不整合な箇所を提示してくれるAI (全体的に論点がズレている箇所や整合性が取れていない箇所など)	3.3	・単純ミスをよくする過程だから助かる	・結局は自分でチェックするから必要ない ・AIに信用がない

○結論・今後の課題

結論：・裁判所に提出するなどの書類を作る過程にAIを導入できる可能性が高く、事務所によって異なるが『不整合な箇所を提示してくれるAI』が一番評価が高いと分かった

今後の課題：・アンケートの低評価意見から「AIに信用がない」、「自分でしたい」という意見が多く見られた
また、実際にAIを導入していない理由として「必要性を感じない」、「存在を知らない」という意見が多かった



AIの認知度を上げ、必要性を伝えることでAIに対しての信用性が上がるのでは

- ・結果の信憑性を上げるために今後もっと多くの弁護士の方にアンケートをお願いしたい
- また、結果の偏りを防ぐためにもっと県外の弁護士さんの意見を伺いたい
- ・AIの信用性を上げるために、どうやってAIの必要性や魅力などを伝える事ができるか考えたい